

(学年) 第1学年、(教科・科目) 国語科・言語文化

一斉学習

(単元) 漢文入門 故事成語一三編 五十歩百歩

(本時のねらい)

本時は「故事成語一三編 五十歩百歩」の1時間目として、これまで学んだ漢文の基礎を活かして、漢文を自ら書き下し文にするという学習活動を行う。ワークシートに1文目の書き下し文のみ印字しておき、2文目以降は個々のペースで書き下し文にしワークシートに記入していく。その際には教員が机間支援する。この漢文には、日本語で言う助詞・助動詞にあたる漢字や置き字等、注意を要する漢字が幾つか含まれている。必要に応じて個別に指導して、理解の定着を図った。その後、一斉指導に切り替え、挙手した生徒たちには発表してもらい、要点を確認する機会を設けることとした。

(ICT活用方法)

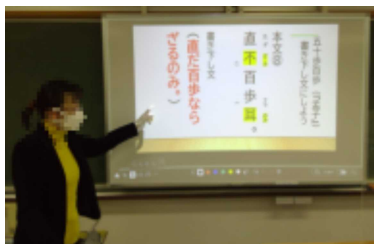
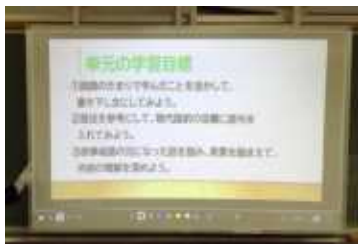
単元名、単元の目標、本時の目標、本時の学習内容、ワークシートの内容、板書の内容、要点などの全てをプレゼンテーションソフトでスライドにまとめ、電子黒板に投影する。板書時間をなくすことで、個別学習の机間支援に時間を割くことができる。また、このスライドは、授業の記録として使用でき、欠席した生徒に対して印刷・配付することもできる。メリットが多いので、どの単元においてもワークシートを作成し、プレゼンテーションソフトでスライドにまとめ、電子黒板に投影している。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 3分	・単元の目標、本時の目標と学習内容を理解する。	・単元の目標、本時の目標、本時の学習の単元上の役割をしっかりと理解させる。	・単元名、単元の目標、本時の目標と学習内容のスライドを電子黒板に映し出す。
展開 35分	・漢文「五十歩百歩」を一文ずつ書き下し文にし、ワークシートに記入する。	・ワークシートを配付する。 ・1文目は例として書き下し文を印字していることを伝える。 ・「訓読の基本」で学んだことを参考にして、自ら書き下し文にしてみるよう促す。 ・わからないところは教員	

	<ul style="list-style-type: none"> 書き下し文について、挙手制で一文ずつ発表する。 	<p>に質問するよう、伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 挙手制で発表させ、要点を含め一文ずつ解説する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一文につき、スライド1枚を表示し、発表した後に、朱書きした正解のスライドを表示していく。
まとめ 2分	<ul style="list-style-type: none"> 次の時間の学習内容を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回は、脚注を参考にして、ワークシート2枚目の現代語訳の穴埋めをすることを伝える。 	

(授業の様子)



導入

「単元の学習目標」を投影

展開

発表タイムでの正解の表示
と要点の解説

ワークシート

2枚目の右側を使用
次回に左側を使用

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

個人差がかなりあるため、個々のペースで学習する時間を大切にしている。まずは自ら考えて答えを出してみるという学習を、4月から行ってきた。その際には、教員が机間支援をし個別対応している。発表に苦手意識のある生徒が多かったが、この方法で自分の答えに自信が持てるようになり、後の発表タイムで発表することができるようになった。今後も続けていきたい。